

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立今津小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・全学年を対象に「生活実態調査」を行ったところ、毎日朝食をとっている児童は低学年 85.7%、高学年 96.7%である。
- ・食事のマナーが確立していない児童がいる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・「食に関する年間指導計画」にそって、食に関する指導を行う。
- ・早寝・早起き・朝ごはんができる児童を 90%以上に確立する。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） ミニ保健・食育だよりを活用した早寝・早起き・朝ごはんの推進

- ・ミニ保健で、早寝・早起き・朝ごはんの大切さについて、紙芝居を用いて指導を行った。児童の中には、朝ごはんに食パンを 1 枚だけしか食べていない者も多かったため、赤・黄・緑のそろった朝ごはんの大切さを伝えた。毎月発行している食育だよりでは、児童だけでなく保護者にも朝食の大切さを呼びかけるため、簡単に作れる朝食レシピをのせたり、赤・黄・緑をそろえた朝食の例をのせたりした。

【取組 2】（テーマ） 児童の食に対する興味関心の向上

- ・各クラス、1 週間ずつランチルーム給食を実施し、その日の給食についての説明や、食文化、食事のマナーなどの話をした。可能な時は、給食技術員を招き、給食作りについて話を聞く機会を設けた。また、食に関する本を置き、配膳を待っている間読めるような配慮をした。毎日配布している「きょうのきゅうしょく」では、児童から食に関する質問を募り、給食放送で回答した。掲示物は、毎月の給食目標だけでなく、食器破損などその時課題となっていることや、給食に使われている食材についての説明など、児童が興味関心をもちやすいよう工夫をした。各学年の渡り廊下でも、その時期児童が学習している内容に関連した掲示物を作成し、理解を深められるようにした。



【取組3】(テーマ) 残食・好き嫌いの指導

- ・残食を減らすため、昨年に引き続き「つぎきる」指導を行った。また、魚が苦手な児童がいることから、栄養教諭が魚をモチーフにした三角巾を着用し、児童の苦手意識を軽減できるよう工夫した。給食室では、にんじんやこんにゃくなどの型抜きをし、児童が給食を楽しく食べられる工夫をした。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・夏休みの子ども料理教室で、100万食のレシピを取り入れ、児童に紹介し、作り方を指導した。
- ・掲示物で100万食のレシピを掲示し、児童に作って食べるよう呼びかけた。
- ・100万食プロジェクトに貢献したクラスには、「つくった」部門、「食べた」部門でそれぞれ表彰した。
- ・学校近くのスーパーに、100万食プロジェクトのチラシとレシピを置いた。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・朝食喫食率（意識調査）は平均97%と朝食に対する意識を高めることができた。
- ・食事のマナーを継続的に指導したことで、3学期には自ら食べ方や配膳を直す児童が増加した。

【課題】

- ・朝食内容について詳しく分析したところ、赤黄緑の緑（野菜）がない児童がおり、プリンやカステラなどの嗜好品を食べている児童や、「パンとごはん」などと主食に偏っている児童もいた。バランスのとれた朝食について、掲示物やだよりを活用して再度児童、保護者に呼びかける必要がある。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」の指導を行っていくとともに、配布資料や懇談を通じて、保護者にも呼びかける。

- ・未だ食事のマナーが確立していない児童に対して、給食時間を活用して個別的に指導を行う。
- ・他校が行っている「お弁当の日」（運動会や社会見学などで給食が無い日に、児童がお弁当作りを手伝う）を導入し、食の自立を目指して指導を行う。
- ・朝食喫食アンケートだけでなく、好き嫌いの有無や内容の把握、お手伝いカードの作成など指導の幅を広げる。